

SDGs実践の取組み紹介

～北部児童クラブとの連携～



社会福祉協議会はみよし市SDGs推進パートナーとして登録しており、地域と関係機関とともにSDGsの取組みを行っています。

SDGsの課題の一つとして「フードロス」があり、社会福祉協議会にもフードロス解消のための食品の寄附が増加しています。今回、お米の寄附があり、社会福祉協議会の窓口などで必要な人に配付しました。配付を受けた人に、残さず食べることでSDGs実現の担い手である意識を持ってもらうために、お米と一緒に北部児童クラブが作成したメッセージカードを渡しました。メッセージカードの作成は、市内児童クラブを受託しているシダックス大新東ヒューマン(株)に相談し、子ども達に声をかけてもらい実現しました。

子ども達は、イラストに色を添えながら「フードロス削減の協力をお願いします」というメッセージを記入してくれました。個性豊かで素敵な仕上がりになっていました。メッセージカードを受け取った人には、子ども達やフードロス削減に向けての想いを一言メッセージにして記入して頂きました。集まったメッセージは児童クラブへ届け、子ども達に見てもらいました。

寄附のあったお米80kgは全て配付され、メッセージカードを通して地域で繋がりがながらSDGs実践を行うことができました。



善意の気持ちありがとうございます

社会福祉協議会への寄附の紹介 11月16日～令和5年1月15日

(順不同・敬称略)

- ・三好丘行政区フェスタ義援金バザー 19,550円
- ・社会福祉法人東海テレビ福祉文化事業団 132,511円
- ・匿名希望 27,920円



社会福祉協議会とは…?

「社会福祉法109条」に基づき設置され、地域の住民、社会福祉や保健、医療及び教育などさまざまな分野の関係者、団体、機関の協力を得て、地域福祉の推進を図る営利を目的としない民間組織です。

地域助け合い活動紹介

中島行政区

中島行政区には約300世帯が暮らしています。

暮らしている人はさまざまで、高齢者のみの世帯、外国にルーツのある人の世帯、ひとり親の世帯も多く暮らしています。

社会福祉協議会に寄附のあった食品の数に限りがあったことから、中島行政区に暮らす人の発案で、行政区内の子どもがいる世帯を対象に渡すことになり、地域の役員が中心となって仕分けをしました。

この活動では、いつ・どこで・だれに・どうやって渡すか？また、どのように仕分けるのか？活発に意見交換がされました。

配布日には多くの世帯が集会所を訪れ、世間話をしながら受け取っていました。

寄附で寄せられた食品を中島行政区に暮らす住民が仕分け、同じ住民に届ける「地域が主役になった活動」が行われました。



共同募金協力事業所の紹介 11月1日~12月31日

- ・有限会社久竜ワーク
- ・松尾歯科
- ・有限会社山下樹脂加工
- ・豊田三好ロータリークラブ
- ・有限会社 伊藤組
- ・有限会社三好螺子製作所
- ・深谷歯科
- ・株式会社サンコー
- ・くまさんこどもクリニック
- ・魚文
- ・株式会社シンテックホズミ
- ・せいきち
- ・日本レヂボン株式会社 三好工場
- ・神和教会
- ・あいち豊田農業協同組合



ベルマークの寄付の紹介

ベルマーク運動は、昭和35年に「すべての子どもに等しく、豊かな環境の中で教育を受けさせたい」との願いをこめて、子どもたちの教育設備の整備・充実を目的に「ベルマーク教育助成財団」が始めた運動で、ベルの形は「国内外のお友達に“愛の鐘”を鳴り響かせよう」という助け合いのシンボルマークです。

ボランティアセンター登録団体の「収集ボランティア」から「必要な人にお渡しください」と申し出があり、三好文化幼稚園に寄附いたしました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

車いす体験を通してみよし市をもっと住みよい街に!

1月5日(木)、6日(金)に三好丘小学校、北部小学校の児童クラブで車いす体験を実施しました。

三好丘小学校では、前半はカラーコーン等を使ってコースを作り、車いすを動かす体験を、後半は新聞紙で作ったボールでポッチャを体験してもらいました。北部小学校では、校舎内を一つの町に見立てて、廊下や教室で障害物をよける体験をしてもらいました。

最後は、みよし市にあるユニバーサルデザインの写真を見たり、社協職員の体験を聞いたりして、みよし市をもっと住みよい街になるために必要なことは何か考えてもらいました。困っている人に出会ったとき「何か手伝えることはありますか?」と声を掛けることが助け合いの第一歩です。



MiyoshiCup!~やっちゃんお!ポッチャ~

「ポッチャ」という競技を皆さんご存じかと思います。

そう、東京パラリンピックの正式種目としても話題となりました。ルールが氷上で行われるカーリングと似ているところから「地上のカーリング」、または「床の上のカーリング」とも呼称されています。ちなみに、ポッチャとはイタリア語で「ボール」を意味しているんですよ。

そのポッチャ競技を地域の方々と一緒に体験するイベントを障がい者福祉センターにて「MiyoshiCup ~やっちゃんお!ポッチャ~」と称して開催しました。

ポッチャ体験を通じて、年齢、性別、障がい等に関係なく交流を行うことにより、日頃運動をする機会の少ない人にスポーツのすばらしさを再認識してもらうことを目的としました。

体験会では、豊田市ポッチャ協会の指導のもと、8つのチームに分かれてポッチャに挑戦しました。

ジャックボール(白いボールで目標とするもの)にぴったり寄せて喜ぶ姿など、普段なかなか体験できない競技を楽しむ様子が見られました。

当日は、キッチンカーも来場し、競技以外の場も楽しく盛り上げてくれました。





ボランティア講座「盲導犬体験教室～盲導犬を知ろう!」

盲導犬の働きや訓練の実演などの見学を通し、視覚障がいについての理解を深め、盲導犬をより身近に感じingことを目的とした講座です。

- ▼日 時… 3月25日(土) 12:00～16:00 ※福祉センター発着のバスで移動します。
- ▼内 容… 盲導犬の紹介、盲導犬の歴史、適している犬種、盲導犬になる過程、訓練の実演・体験等
- ▼場 所… 社会福祉法人中部盲導犬協会 盲導犬総合訓練センター
愛知県名古屋市港区寛政町3-41-1
- ▼対 象… 市内在住の人20名(先着順)
- ▼参加費… 未就学児…無料 小・中学生…100円 高校生…300円 一般…500円
- ▼募集期間… 2月1日(水)～3月10日(金)にみよし市ボランティアセンターに電話もしくは直接申込みください。
※障がいのある人は申込時にお伝えください。



地域福祉活動助成金の紹介

地域福祉課題を解決するために主体的、自主的に取り組む地域福祉活動を応援します。

- ▼対象団体… 法人格を持たない任意団体又は特定非営利活動法人
- ▼助成対象… 市民と連携及び協力し、地域住民が主体となって実施する支え合い、助け合いなど地域福祉の視点が盛り込まれた活動。ただし、政治や宗教等と連動する事業など、助成事業とならない事業もあります。
- ▼助成金額… 活動費の一部を助成します。
 - (1)申請初年度 1団体 150,000円以内
 - (2)継続申請 (2年目以降、継続申請は4年を限度とします)
1団体 100,000円以内

視覚障がい者用録音物の郵送貸出のご案内

音訳ボランティア団体「やまびこの会」のご協力により、みよし市の情報を音声版CDにしてお届けしています。お気軽にお問合せください。

- ▼対象者… 市内在住の視覚障がい者
- ▼内 容… 「広報みよし」「社協だより」が収録されたCDを毎月1回、郵送します。(CDはその都度ご返却いただきます) 郵送にかかる費用は無料です。
- ▼その他… CDは、2種類あります。
 - ①パソコン(Windows Media Player)またはプレクストークで聞けるもの
 - ②ご家庭の音楽プレーヤーで聞けるもの
 申込み時にご希望をお伝えください。

社協から外国人のみなさんへ(ポルトガル語訳)

みよし市社会福祉協議会のホームページで、社協だよりをポルトガル語で見れるようになりました。本紙をスマートフォンやタブレットでご覧いただけます。

No site do Conselho Municipal de Assistência Social de Miyoshi, você já pode ler o Boletim informativo de Assistência Social em português. Você pode ver este artigo em seu smartphone ou tablet

